

「秋田県中小企業振興委員会」におけるこれまでの意見のふりかえり(平成26～28年度)

項目		意見内容	H28提言 への反映
基本的施策1 経営基盤の強化			
	情報提供	「どこにどういう相談ができるのか支援機関の情報の一元化を」	
		「支援情報のポータルサイトを」	
		「税務署や県税事務所、金融機関等でも支援情報のPRを」	
		「中小企業者・小規模事業者に対して条例と関連施策の周知徹底を」	
		「既存の中小企業に対して、市町村からの声かけが全くない」	
		「中小企業側も情報を取りに行くことが大事」	
		「中小企業者・小規模事業者や県民に条例や施策を分かりやすく伝えるツールを」	
		「中小企業の具体的な取組事例により支援施策のPRを」	
	経営支援	「市町村や金融機関のネットワークを活かして地域の取組のコーディネートを」	
		「フォローだけではなく、時にはブレーキをかけたり軌道修正したりすることも必要」	
		「県や支援団体は懸命に取り組んでいるが、横断的にできれば効果が出る」	
		「何をやってもパーフェクトはないので、階段を一步步ずつ上がるしかない」	
		H28「起業した人への継続的なバックアップを」	(2)②
		H28「支援した企業のさらにその後まで(ビフォー・アフター・アフター)の支援を」	(2)③
	経営者の育成	「若手経営者や異業種の交流の活発化を」	
		「ベテラン経営者と若手経営者の交流の機会を」	
		「経営者に対する勉強会を」	
		「中小企業振興クラブのようなものを作って、経営者や幹部クラスのディスカッションの場を」	
		「経営者の育成により上場企業を増やす取組を」	
	補助金活用	「補助金の使い方に対するフォローアップを」	
		「補助金は新規事業向けが中心で、昔から継続する企業にはなかなか当てはまらない」	
		「国の補助金の申請手続きをもっと簡素に、スピーディにしてほしい」	
		「補助金で試作した製品を販売可能に」	
	小規模事業者	「小規模事業者に対し、補助金申請手続きに係る支援を」	
		「小規模事業者の身の丈にあった施策、小規模事業者向けの施策を」	
		「小規模事業者には全く情報が入ってこない。条例のことを知らない」	
		「地域の小規模事業者に声をかけ、手を差し伸べる支援を」	
		「既存の企業が持続できるような支援を」	
		「中小企業者と小規模事業者を棲み分けた施策を」	
		H28「小規模事業に現在取り組んでいる現場の人材への支援を」	(2)①
	事業承継	「後継者対策など事業承継への支援を」	
		「事業を継続させるための施策を」	
	その他	「資本金へ注入する形での起業支援・経営支援を」	
基本的施策2 新たな市場の開拓			
	受注拡大	「県内中小企業の受注の機会拡大を」	
		「公共建築に県内企業の製品使用を」	
		H28「受注拡大のために企業が行うべき営業活動等について、具体的なアドバイスを」	(1)③
	海外展開	「海外展示会の後のフォローアップを」	
基本的施策3 企業競争力の強化			
	製品開発	H28「製品開発への長期的・継続的な支援を」	(2)③
	産学官連携	「産学官連携の推進団体やネットワーク等の育成を」	
		「中小企業が気軽に大学を訪問できるような施策を」	
		「産学官連携による技術・製品開発への継続支援を」	
	航空機産業	H28「小規模事業者は、航空機産業のような施策とあまり関係がない」	(3)②
		H28「将来を見据え、航空機産業のような夢のある施策に県が取り組むことは望ましい」	(1)①
		H28「航空機産業の予算額がとりわけ大きいため、関わりのない企業からの異論が出る」	(3)②
		H28「航空機産業を進めると2～3年後にこうなるというビジョンがあれば説得力が出る」	(3)④
		H28「航空機産業の育成など、秋田で学んだ子供達が魅力を感じて県内に残れる仕組みを」	(2)⑦

基本的施策4 新たな事業の創出				
	非製造業支援	「ものづくりだけではなく、サービス産業への支援を」		
		「県内で新エネ関係のメンテナンス人材の育成を」		
		「県内企業による県外出店への支援を。儲かっている企業の本社が県内にあることが大事」		
	起業・創業	「税務署や県税事務所、金融機関等でも支援情報のPRを」		
		H28（再掲）「起業した人への継続的なバックアップを」	(2)②	
	企業の意識啓発	「儲かる産業はそう簡単にはない。自分たちで作っていかなければならない」		
		「条例は知っていても県庁に対して敷居の高さを感じて相談に行けない若手経営者が多い」		
		「どこに情報を取りに行ったらいいのか分からないという若手経営者が多い」		
		H28「教えてやらなければ変わらないし、変われない企業は生き残れない」	(1)②	
		H28「中小企業に夢を与えるような条例の活用方法を浸透させ、県内企業の意識を高めたい」	(1)①	
H28「やる気を有する企業による新たな取組の掘り起こしを」		(1)①		
基本的施策5 地域の特性に応じた事業活動の促進				
	地域資源	「花火産業創出の取組に期待」		
		「製造も販売も観光もいろいろなものの価値を上げるために地域ぐるみで取り組む」		
		「農業や林業などの一次産業に元気がないと原材料が入手できない」		
		「農業のブランド化が食品加工業の振興につながる」		
		「伝統的工芸品と飲食料品とを一体的に売り込むことが必要」		
		「家族構成やライフスタイルの変化に合わせた商品開発が必要となっているが容易ではない」		
		「秋田駅前など人の集まりやすいところに工芸品等の展示スペースを」		
		「農業や観光の基盤を活かした海外誘客を」		
		H28「農商工連携や伝統的工芸品など地域から県外に出て行く取組の強化を」	(2)④	
		H28「農業県の特徴を活かした事業の育成を」	(2)④	
基本的施策6 人材の育成及び確保				
	女性の活躍	「女性の声に耳を傾けた施策を」		
		「女性に限った形にしてしまうと、逆に女性は取り組みにくい」		
		H28「女性の活躍ではなく、若手事業者とか後継者のバックアップと言ってほしい」	(2)①	
		H28「日中のセミナー開催では、仕事をしている女性が参加できない」	(1)④	
	人材の育成・確保	「学生の就職先として魅力ある企業になることと、それをサポートする体制が必要」		
		「地域の事業者の人材育成・確保への後押しを」		
		H28「既存の事業者の能力を高める取組を」	(2)①	
		H28「技術人材の確保への支援を」	(2)⑤	
		H28「若手人材の育成と確保への支援を」	(2)⑤	
	教育	「高校生等のビジネスへの想いを伸ばしてあげる教育を」		
		「高校生に対して、県際収支など経済全体の構造を伝えていく必要がある」		
		H28「中学生、高校生から、県民経済の仕組みや経営に関する知識を伝えていく必要がある」	(2)⑥	
		H28「小さな頃から、両親の働き方や仕事について教えていく必要がある」	(2)⑥	
		「大学や高校の教員が中小企業のことを知らないのを知ってもらう取組を」		
		「製造業に就職する高校生に社会人としての自覚が芽生えるような人材教育を」		
	県内定着	「中小企業で働く若い人が安心して子育てできるような環境を」		
		H28（再掲）「航空機産業の育成など、秋田で学んだ子供達が魅力を感じて県内に残れる仕組みを」	(2)⑦	
	その他	「中小企業を中心に産業振興を図る際の具体的な人材モデルの研究を」		
	その他(条例の推進について)			
		周知活動	(再掲)「中小企業者・小規模事業者に対して条例と関連施策の周知徹底を」	
(再掲)「中小企業者・小規模事業者や県民に条例や施策を分かりやすく伝えるツールを」				
(再掲)「中小企業の具体的な取組事例により支援施策のPRを」				
「啓発イベントは秋田市だけでなく、各市町村でも実施を」				
「条例の推進にあたって、キャラクターやマスコットなどシンボリックなものを」				
「条例と関連施策がだいぶ浸透してきたが、全く知らない事業者もいるなど温度差がある」				
「中小企業の従業員や一般県民に条例が浸透するよう努力を」				
「知らない人が多いほど条例は廃れてしまうので、地道な取組により継続的なPRを」				
H28「耳の痛いこと、聞きたくないことを情報として提供することもこの会議の使命の一つ」			(3)①	
目標設定等		「事業の達成度はどうなのか、実績の表現をもっと分かりやすく」		
		H28「施策ごとの目標値のほかに、条例全体の成果を計るための指標を」	(3)⑤	

注）「H28」は前回(平成28年度第1回)における発言